
大阪府摂津市の一般市中病院における 1 年間の COVID-19 の現況

切東 美子
(摂津ひかり病院)

【目的】

摂津市の市中病院における昨年 3 月から今年 4 月までの COVID-19 の現況を明らかにする。

【方法】

モノレール摂津南駅から 2 km 北東に位置する。大阪府指定 2 次医療機関 50 床
所定の感染対策を講じて PCR 検査を施行した。検査対象は多くが摂津市在住である。

【結果】

2020 年 2/27 から 2021 年 4/28 までの PCR 検査合計 2442 の陽性例について、第 1 から 3 波と第 4 波について分析した。その結果を報告する。2020 年 2/27 から 2021 年 1/31 までを第 1～第 3 波とした摂津市在住者の PCR 検査集計 1839、陽性例 62、陽性率 3.4%であった。年代別の陽性者数は、30 歳代が最も多かった。次に 2021 年 2/1 から 4/28 までを第 4 波とした PCR 検査の集計は 603、陽性例 58、陽性率 9.6%であった。年代別陽性者数は、20 歳代が最多だった。月別検査数では、2021 年 4 月の 491 件が最も多く、陽性率は 4 月の 12.4%が最も高かった。陽性者の住居地から地域別の特色がみられた。

【総括】

性別では、第 4 波で女性に比べやや男性が多かった。第 4 波の陽性率は第 1 波から第 3 波と比較して明らかに 3 倍ほど高くなっており、ウイルスの変異株の感染力が強いことがわかる。年代別では、第 4 波では 20 歳代の陽性者数が一番多く 30 歳代がこれに続き多かった。また、高齢者の陽性者の割合が第 1 波から第 3 波と比べ第 4 波で高くなっているのが特徴である。地域別にみると、摂津市で住民が多い駅の周辺、マンションなど住宅密集が高い地域での陽性者が多いことが判明した。通勤や買い物に便利な駅付近や大型商業施設周辺に居住している 40 歳以下で陽性者が多かった。摂津市という地域の特性を考慮した感染対策が必要であり、今後は鉄道やモノレールの駅周辺や大規模商業施設周辺にあるマンションなどに居住する住民を対象に重点的に感染対策を呼び掛けることが摂津市全体としての感染予防に効果的と思われる。今回の COVID-19 による感染時における摂津市の地域特性を明らかにし、医療関係者の情報共有により今後の地域医療における感染対策への一助にしたい。